必要に応じて、ルビを振ります。別途、用語の説明を作成します。（実際の調査票は、白黒印刷です。）

調査票（案）

資料３（若年層）

あなたご自身やご家族のことについてお聞きします。【令和８年９月１日現在】

項目ごとにあてはまるものを１つずつ選んでください。

①性　別	１　女性　　２　男性　　３　その他（答えたくない、わからないなど） ※ご自身の主観により答えてください
②年　齢	１　１３歳　　２　１４歳　　３　１５歳　　４　１６歳　　５　１７歳
③学校や状況	１　中学校（中１～中３） ２　中等教育学校 ３　高等学校（全日制） ４　高等学校（定時制・通信制）・専門学校等 ５　特別支援学校 ６　学校に通っていない

ジェンダー平等意識と実態についてお聞きします。

問１　次の①～⑦について、男女の地位は平等になっていると思いますか。項目ごとにあてはまるものを１つずつ選んでください。

一般向け（問１）と同設問
【一部、文章表現を易しく】



	男性が優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が優遇されている
①　家庭生活	1	2	3	4	5
②　職場	1	2	3	4	5
③　学校教育の場	1	2	3	4	5
④　政治の場	1	2	3	4	5
⑤　法律や制度上	1	2	3	4	5
⑥　社会通念・慣習・しきたり	1	2	3	4	5
⑦　地域活動（自治会、PTA、ボランティア活動など）	1	2	3	4	5

問２　「父親は外で働き、母親は家庭を守るべき」という考え方について、どう思いますか。あてはまるものを１つ選んでください。

一般向け（問２）と同設問【一部、文言を変更】

1	そう思う
2	どちらかといえばそう思う
3	どちらかといえばそう思わない
4	そう思わない

問３　次の①～④について、あなたの家庭では主に誰が担っていますか。項目ごとにあてはまるものを１つずつ選んでください。

一般向け（問７）と同設問【一部、文言を変更】

	主に母親	主に父親	母親と父親が同じくらい	主に自分	その他	該当なし
① 家事（炊事、買い物、洗濯、掃除など）	1	2	3	4	5	6
② 育児・子育て	1	2	3	4	5	6
③ 介護・看護	1	2	3	4	5	6
④ 地域の活動（自治会活動等）	1	2	3	4	5	6

問４　学校や地域で、性別によって役割や活動が決められることがあると思いますか。あてはまるものを１つ選んでください。

1	あると思う
2	どちらかといえばあると思う
3	どちらともいえない
4	どちらかといえばあると思わない
5	あると思わない

問５　将来の進路や職業を選ぶとき、自分の性別を意識することはありますか。あてはまるものを１つ選んでください。

1	意識する
2	どちらかといえば意識する
3	どちらともいえない
4	どちらかといえば意識しない
5	意識しない

問６　性別に関わりなく、個性と能力を十分に発揮して、誰もが活躍できる社会は大切だと思いますか。あてはまるものを１つ選んでください。

１　大切だと思う
２　どちらかといえば大切だと思う
３　どちらともいえない
４　どちらかといえば大切だと思わない
５　大切だと思わない

問７　ジェンダー平等について、関心がありますか。あてはまるものを１つ選んでください。

１　関心がある
２　どちらかといえば関心がある
３　どちらともいえない
４　どちらかといえば関心がない
５　関心がない

問８　ジェンダー平等について、主にどこで情報を得ていますか。あてはまるものを１つ選んでください。

１　学校（授業や先生など）
２　インターネット（ＳＮＳなど）
３　家族や友人との会話
４　テレビやラジオ、書籍
５　その他（　　）

問９　学校や地域で、ジェンダー平等について学ぶ機会は十分であると思いますか。あてはまるものを１つ選んでください。

１　十分である
２　どちらかといえば十分である
３　どちらともいえない
４　どちらかといえば十分でない
５　十分でない

問 10　ジェンダー平等社会の実現に向けて、あなたができることはありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

1　性別に関わらず、互いに尊重しあう
2　性別による偏見や思い込みに気づく
3　多様性を理解して、受け入れるい
4　わからない
5　その他 [　　]

問 11　平塚市が、性別に関わりなく誰もが活躍できるジェンダー平等社会を実現するためには、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

1　学校において、ジェンダーについて学ぶ機会を増やす
2　性別による偏見や思い込みをなくす啓発活動を行う
3　性別を理由にした差別や嫌な言動をなくすための取組を行う
4　多様な生き方や働き方を支援する取組を行う
5　誰もが自分らしく生きられる社会づくりを推進する
6　特に何もする必要はない
7　その他 [　　]

セクシュアルマイノリティ（LGBT等）についてお聞きします。

問 12　平塚市では、令和４年４月１日から「平塚市パートナーシップ宣誓制度※」を開始しましたが、知っていましたか。

※　セクシュアルマイノリティや事実婚のカップルなど同性・異性を問わずパートナーシップのある２人が、互いに人生のパートナーであることを宣誓し、市長がその事実を公的に証するものです。

一般向け（問 15）と同設問

1　知っている
2　知らなかった

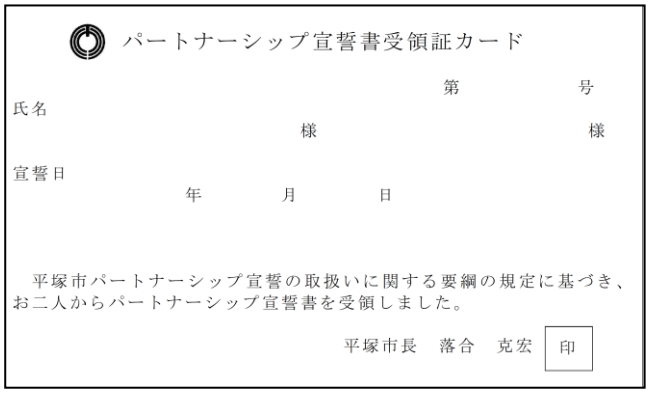


パートナーシップ宣誓受領証



現在の内容に修正

パートナーシップ宣誓受領カード



※　受領証等は、平塚市パートナーシップ宣誓制度に基づき、パートナーシップを宣誓することで交付され、県営住宅や市営住宅への入居申請の際に使用することができます。市では、受領証等を提示することで利用できるサービスを増やしていくとともに、民間事業者や市民の皆様に対しても、周知啓発に努めています。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れて、10月14日（水）までに返送してください。（切手不要）



最後に、ジェンダー平等について、ご意見がありましたら記入してください。